

JPRS-ADVRPT-2010001  
2010年12月28日

株式会社日本レジストリサービス  
代表取締役社長 東田 幸樹 殿

JPドメイン名諮問委員会  
委員長 後藤 滋樹

## 答申書

地域型JPドメイン名の再構築についての諮問書(JPRS-ADV-2010001)に答申いたします。

## 主 文

地域型JPドメイン名をさまざまな地域の方々が登録活用しやすく、地域の発展に寄与するドメイン名とするため、「都道府県名ラベル直下の第3レベルに、誰でもいくつでも登録できるような空間に再構築する」ことが適切である。

また、地域型JPドメイン名の再構築内容の具体化にあたっては、以下の方針を軸に検討を進めることが適切である。

1. 再構築後の地域型JPドメイン名空間への新規登録の開始に伴い、従来の形式による地域型JPドメイン名の新規登録は停止する。
2. 既に登録されている地域型JPドメイン名については、継続利用を認める。
3. 再構築後の地域型JPドメイン名の登録管理については、日本全体に均質なサービスを提供することを優先し、JPRSが引き続き管理を行う。
4. 再構築後の地域型JPドメイン名空間についても、予約ドメイン名を設定する。
5. 再構築後の地域型JPドメイン名空間への新規登録開始時の混乱を回避するための施策を検討する。また、地域との結びつきの強さやその実現方法

等についても慎重に検討する。さらに、再構築後の地域型 JP ドメイン名空間の特徴や位置づけ等について、十分な広報を行う。

## 理 由

地域型 JP ドメイン名は、小中学校や地方公共団体など、地域に密着した組織を收容することなどを目的として、1993 年 12 月に登録が開始された。その後、現在までに地域型 JP ドメイン名を取り巻く環境は大きく変化してきており、新規登録数と累計登録数が 2000 年代初頭より減少し続けている状況となっている。

その一方で、インターネット利用者にとってわかりやすく、登録者にとって使いやすければ、地域を表すドメイン名空間に自分のドメイン名を登録して、地域との結びつきのある活動を行いたいという要求は存在する。

これらの背景から、地域型 JP ドメイン名をさまざまな地域の方々が登録活用しやすく、地域の発展に寄与するドメイン名とするため、「都道府県名ラベル直下の第 3 レベルに、誰でもいくつでも登録できるような空間に再構築する」ことが適切である。

また、地域型 JP ドメイン名の再構築内容の具体化にあたっては、以下の方針を軸に検討を進めることが適切である。

### 1. 従来の形式による地域型 JP ドメイン名の新規登録について

従来の形式による地域型 JP ドメイン名は、累計登録数が 2000 年代初頭より減少し続けていること、2009 年の新規登録数が 13 件であることなどから考えると、登録需要はほとんどないと思われる。また、従来の形式による新規登録を継続する場合、従来の形式と再構築後の新しい形式の両方が並立することになるため、登録ルールがより複雑になり、わかりにくくなるおそれ大きい。

したがって、再構築後の地域型 JP ドメイン名空間への新規登録の開始に伴い、従来の形式による地域型 JP ドメイン名の新規登録については、停止することが適切である。

## 2. 既に登録されている地域型 JP ドメイン名の継続利用について

既に登録されている地域型 JP ドメイン名については、多くの登録者が「引き続き利用したい」との意向を持っている。また、2002 年度諮問委員会答申でも、登録者およびインターネット利用者の混乱を避けるため、「登録規則の改訂等登録者の責によらず不適合になったものは、登録を維持すべきである」としており、この基本的な考え方は本件にもあてはまると考えられる。

したがって、既に登録されている地域型 JP ドメイン名については、継続利用を認めることが適切である。

## 3. 再構築後の地域型 JP ドメイン名の登録管理について

個々の地域との関連を重視するのであれば、都道府県名ラベル毎にドメイン名の登録管理を JPRS 以外の事業者委任・委託し、登録資格を工夫することによって独自性を出すことも考えられる。しかしながら、都道府県名ラベル毎に管理を行う事業者が異なることになった場合、ルールや手続が異なるなど、サービスが均質でなくなり、結果として登録者や指定事業者にとって負担になる可能性がある。

以上のことから、再構築後の地域型 JP ドメイン名の登録管理については、日本全体に均質なサービスを提供することを優先し、JPRS が管理を行うことが望ましい。

## 4. 予約ドメイン名について

インターネット利用者等の混乱を防ぐため、再構築後の地域型 JP ドメイン名空間についても、予約ドメイン名を設定することが望ましい。

なお、具体的な予約ドメイン名の文字列については、現在地域型 JP ドメイン名等で予約ドメイン名になっているものを参考にすることが適切である。

## 5. その他、留意すべき点について

再構築後の地域型 JP ドメイン名空間への新規登録を開始する際は、登録したいドメイン名の重複や申請の集中などの混乱が予想されるため、混乱回避のための施策を検討することが望ましい。

また、「地域の発展に寄与するドメイン名とする」という目的を考えると、地域とのある程度の結びつきは必要であると考えられる。地域との結びつきの強さやその実現方法等については、審査の複雑さや有効性等を考慮しつつ、慎重に検討することが望ましい。

さらに、再構築後の地域型 JP ドメイン名空間の特徴や位置づけ等について、ドメイン名登録者やインターネット利用者等の理解を得られるよう、十分な広報を行うことが望ましい。

以上